

社協だより 萩

Vol. 38

2011
6/1



始まります

しあわせ写真コンテスト

ステキですね。

私たちの身近な地域の福祉を推進するということは、こんなステキな光景がたくさん見られるということ。普段の暮らしの中に幸せが溢れるということでしょう。

この写真コンテストは、そうした日常生活にある笑顔・ふれあい・助け合い・交流する姿を映し出したものです。たくさんの方のステキな一コマをお待ちしています。



新たな範囲で進む福祉活動

小地域福祉活動推進事業

生活を基盤とする福祉活動は、同じ地域（概ね小学校区）に住む住民同士が主体的に、その地域にある生活課題を話し合い、柔軟に地域に合った取り組みを進めることが重要です。社協では、平成22年から3年間、モデル地区7ヶ所を指定しています。

山田の福祉を考える会（秋）
住みやすい明木を育てる会（旭）

川上地域福祉活動推進委員会（川上）
紫福地域福祉活動推進委員会（福栄）
吉部地区小地域推進委員会（むつみ）
弥富地区福祉活動推進委員会（須佐）
小川福祉活動推進委員会（田万川）

●山田の福祉を考える会

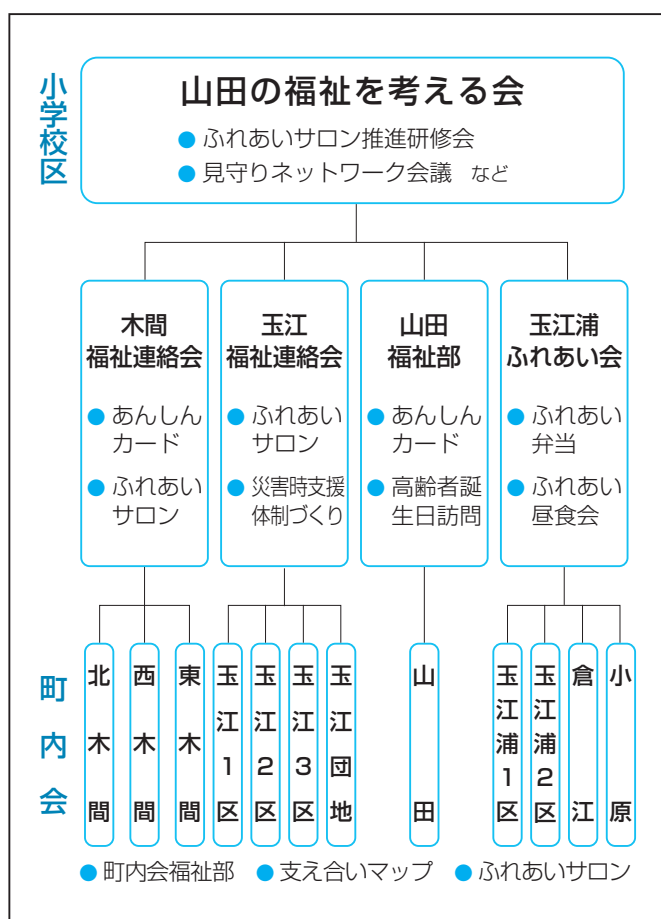
農村と漁村からなる山田地区には、高齢者の孤立や安否確認、災害時の避難、日用品の買物などの地域課題があります。

考える会では、4月26日、サロン推進研修会を開催しました。当日は、地区内で取り組まれている4ヶ所のサロンから活動紹介があり、サロンの魅力を伝えました。

この考える会の後押しを受け、町内会に福祉部を設置すること。

ひとり暮らし高齢者の誕生日にプレゼントを持って訪問し、生活の様子を伺う活動。災害時の避難に支援が必要な方の把握や必要な道具の整備。月に一度、高齢者世帯や障がい者世帯に弁当を届ける活動などが展開されています。

こうした福祉活動は、小学校区の範囲、地域行事のつながりがある範囲、更に身近な町内会の範囲で行われています。これからも、それぞれの課題に応じた範囲で、活動が広がっていくことでしょう。



地域の福祉力を高める

人とひととのつながりを強める

地域の皆さんが、自分たちの地域のよいところを見つめ直し、新たな地域の課題に目を向けて、皆で集まって話し合うこと。そして、新たな助け合いの仕組みづくりを行うこと。そうした地域の皆さんが主役の福祉活動を念頭に、小地域福祉活動の推進を図ってきました。

ふれあい・いきいきサロン活動

動は、合併当初は実施されていない地域もありましたが、全7地域93ヶ所で各々の地域の特色を活かし、楽しく活発に活動されています。サロンを通じて、地域のひとひととのつながりは確実に強くなっています。

口腔ケアの普及啓発は、かかりつけ歯科医をもち、定期的に診ていただくこと。日常的に自己ケアを行うことを

目標に、推進してきました。離島や各総合事務所単位での地域リーダーの研修会を行い、「歯あわせ健口体操」「はぎ弁健口遅口言葉」を考案し、楽しみながらの取り組みが広がっています。

小地域福祉活動推進事業は、

概ね小学校区の範囲で住民主体の福祉活動推進委員会を組織し、7ヶ所で取り組みを始めた。モデル地区では、月1回程度委員会を開催し、地域の生活課題の解決に向けた協議が重ねられています。そして、アンケート調査、広報誌の発行、町内会単位で行われるサロン活動を後押しすること、町内会福祉部の設置を推進するなど、地域に合った柔軟な取り組みが始まっています。

認知症は、単なるもの忘れとは違います。認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者である認知症サポーター養成講座は、金融機関や学校をは

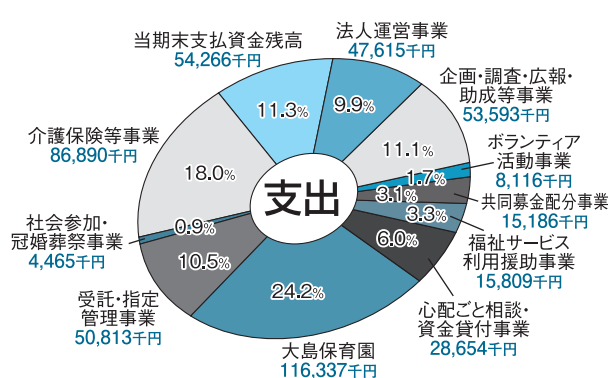
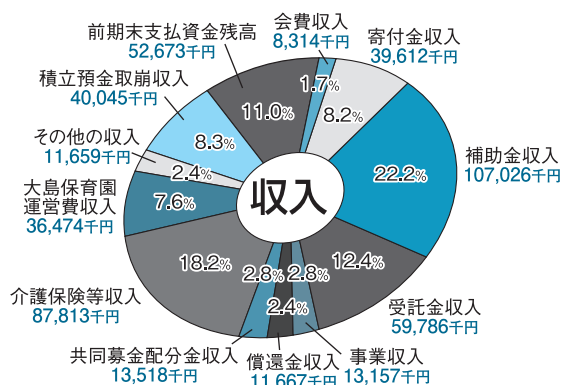
じめ、離島や少人数のグループでも行いました。昨年1105人、現在3044人の認知症サポーターが誕生しています。オレンジリングを付けたサポーターが身近な近所や町内会、金融機関、商店などに数多くいらっしゃれば、認知症になっても、またそのご家族にとっても心強く、温かい町となることでしょう。

福祉員は、地域のよきアンテナ役として身近な小地域の福祉問題を発見し、民生委員や町内会等と連携しながら活動を進めています。昨年は、509名の方に委嘱させていただきました。

ボランティア活動は、個人やグループ等で様々な分野で活動いただいています。調理ボランティアとして弁当を作ることで見守り活動に参加したり、個人でエコキャップ等を集めたりしています。今後も、活動が活発になるよう支援していきます。

平成22年度決算概要

平成22年度決算概要



総額 481,744千円

地域活性化も住民の意識改革から！

下瀬 始郎さん
(田万川・小川8区／82歳)



萩市田万川地域協議会会長に就任して6年、この間、地域交通の利便性等の問題に取り組んできました。しかし、まだ高齢者の足の確保という課題もあります。

地域を盛り上げるため、コミュニティ団体などのお手伝いをさせていただく中、社協とともにサロンの普及を進め、昨年度は小川地区内3ヶ所で新たに始まりました。また、高齢者を孤立させないよう、友愛訪問員数を増やし、見守り活動をより強化していくことも思案中です。今年度は防災マップをもとに、具体的避難箇所の設置を計画しています。

今、住民も行政に頼るだけではなく、何をしなくてはいけないのかを考える時期だと感じています。そして、関係団体の意見のまとめ役として活動することで、地域を活気づけられると思っています。

鈴野川から元気を発信！

品川 石和さん
(須佐・弥富4区／56歳)



鈴野川ふるさと会の代表を仰せつかり、20年余りになります。

会の前身は、ひと昔前ならこの地域にもあった青年団です。

盆踊り大会、ほたる祭りなどを行ったり、地域の行事に参加したり、誰でも参加できるボランティア団体として、日々活動しています。

これからは、高齢者の家庭が増える中、地域の便利屋としての活動も視野に入れ、皆様のお役に立てればいいなと思っています。

6月11日には、鈴野川ほたる祭りを開催します。皆様お誘い合わせて、ぜひお越しください。

つながりが強くなるサロン

松浦 啓子さん
(萩・大井浦下／62歳)



皆で集って楽しく過ごそうと、町内会や地区の民生委員、福祉員、保健推進員、漁協女性部長さんのご協力で、4月22日に第1回目のサロンを開くことができました。参加してもらえただろうか。楽しんでいたか不安でいっぱいでしたが、たくさんの方が参加され、ゲームや折紙が始まると笑顔いっぱいでした。2回目となる今月は、てぬぐいで帽子を作る予定で準備を進めています。

初回は女性ばかりでしたが、男性や子どもたちにも、そして地域のどなたでも参加していただけるサロンにしていきたいと思っています。サロンで互いに顔が見え、お話ができる。そうしたことを通じて、地域の人とひとのつながりを強くしていくサロンでありたいと思っています。

歩きながら地域を見守る

溝部 スミ子さん
(写真右)
(川上・三徳／74歳)



健康づくりのためにウォーキングを阿武美智代さんと2人で始めて、早いもので3年余りになります。

歩いているうちにゴミがたくさん落ちていくのに気づき、月に数回、袋を持ってゴミを拾うようになりました。また、歩いていれば色々な人に出会い、つつい話が盛り上がります。煙突から煙が出ていたり、家に灯りがついているのも見え、今日も元気でいらっしゃるなど気にしながら歩くようになりました。

小さなことですが、みんなが注意して安否確認や清掃活動を行うことによって、川上がきれいで安心な地域になればと思います。

川上



旭・川上地区合同のおやこ交流会。15組44名の親子が紙芝居やお買い物ごっこでふれあいました。

須佐



サロンスタッフや給食V Oの会、須佐婦人会での口腔ケア研修会。飲み込む力に合わせた調理の工夫の仕方などを学びました。



福栄



福栄支部老連では、会員同士が互いに見守り支えあっていこうと「認知症」について学びました。



旭

4 ささなみサロン



陽だまりの温かさを楽しむ春の日、民生児童委員さんの声かけで行われた「ささなみサロン」。久しぶりに会う仲間に、笑顔も話も絶えない一日でした。

むつみ

おじいちゃんと竹の子を掘り、おばあちゃんと料理をしました。(山と海の体験プログラム)「田舎に來たみたい。」という、他地域の中学生の言葉が印象的でした。



田万川



小川地区では集落でのミニサロンが広がり、心の安らぎや悩みごとを解消する場となっています。



善意銀行 ありがとうございます

本人の承認を得たもののみを掲載しています。
金額の掲載を希望されない場合と指定寄付は、
掲載していません。
※平成23年3月1日～4月30日受付分（敬称略）

香典返し・玉串料返し・花料返し

ご芳名	ご住所	備考	寄付額
萩			
河村智恵子	堀内1区の1	夫／重雄	
友尻 金也	三見浦2	母／絹江	
佐伯 實	大井坂本	叔父／勝信	
大森シヅ子	浜崎3区の2	夫／市郎	
中屋 久雄	倉江の2	弟／繁	
田村 廣	下関市小月杉迫	母／静枝	
末武 道弘	越ヶ浜2区の2	母／トキコ	
阿武 新吉	長山	妻／秋子	
伊藤 重友	中小畑の3	母／ユリエ	
山本 幸男	細工町	母／梅子	
栗屋 眞明	江向1区の4	母／マシ子	
村上須美子	土原2区の1	夫／正成	
藤田 成子	無田ヶ原の2	夫／誠	
藤村 治	土原1区の3	父／清	
田邊 喬治	下五間町の1	母／ハルエ	
石戸 清志	東浜崎1区の2	母／イセ子	
藤山 卓也	中小畑の3	父／元男	
福永紀代子	堀内1区の3	夫／吉兼	
笹野 廣	浜崎3区の2	妻／みち子	
元澤 慎一	東浜崎2区の1	父／和男	
中屋 勝好	倉江の1	父／四郎	
福岡 公	浜崎1区の1	母／正子	
松本 豊	椎原の2	父／茂一	100,000円
吉富 秀徳	山口市吉敷中東	妹／安部ゆかり	
堀 敏章	三見駅通	父／義夫	
三浦 克己	三見浦5	母／美代子	
河村智代子	土原2区の2	夫／泰夫	
櫻原 君子	無田ヶ原口の2	母／イワ子	
長岡 俊治	大島常村	父／政次	
福井 正明	瓦町の1	妻／登喜枝	200,000円
三村 信行	河添の1	母／房子	
中村 邦介	鶴江2区の2	叔母／吉村ツル子	
伊藤 知子	瓦町の2	夫／保太郎	
白上 正人	後小畑の2	父／静男	
山根スミ子	河添の1	夫／力	
黒田 和海	平安古西区の1	妻／シズエ	
斉藤 幸男	川島1区の1	父／芳一	
廣畑 雅弘	土原1区の3	父／義雄	
堀永 孝春	三見浦2	母／竹子	

ご芳名	ご住所	備考	寄付額
川 上			
溝部 義孝	立野	父／文次	
田 万 川			
吉崎 久之	湊	母／十四子	
俣賀 保宏	中組	父／一正	
安田 学	小川11区	父／智	
堀野 俊子	中組	夫／嘉治	
む つ み			
大田 則文	広瀬下	母／利江	
藤井 守	影畑	母／千代子	
伊藤 剛毅	麻生	子／直和	
山根トミコ	毛木山	夫／正志	20,000円
増原 建夫	殿川	父／節夫	50,000円
佐伯 清	市上	妻／八江子	
斉藤 敏男	天坪	父／安治	
須 佐			
堀 由紀子	まてかた	母／大谷ナミ子	
岩本 健一	本町中	父／重吉	
石川 安典	弥富1区	母／崇子	
前田 昇	前地	母／タカ子	
廣兼 繁正	弥富1区	母／ツル子	
新潟 秀男	浦東	母／ユキヨ	
旭			
小林シナ子	高津	夫／登	
藤井 從寛	長瀬	父／雄範	
藤谷 芳久	深瀬	母／マツコ	
守永 義次	笛吹	父／晴次	
齊藤 裕己	下横瀬	母／静江	
福 栄			
内山アキ子	向山	夫／進	
匿名			30,000円
鈴木 敏治	高坂	母／ツユ子	
波多野敏男	金峯	母／艶子	
伊藤 良三	吉田	母／重子	
矢次 義則	別所	父／功	
阿武 輝夫	紫福山田	母／アキコ	
永安 一枝	下蕨野	母／ハツネ	
水岡 典子	向山	夫／儼	
鬼村 富子	鎌浦	母／幸子	

一般寄付

ご芳名	ご住所	備考	寄付額
萩			
山口新聞社	下関市東大和町		50,000円
河野 貞夫	土原1区の1		
松浦 芳江	土原1区の1		
匿名			5,000円
匿名			5,000円
匿名			3,000円

ご芳名	ご住所	備考	寄付額
川 上			
横山 松次	笹尾	一膳寄付	
田 万 川			
地域密着型介護サービスぬくもり			
小川 良夫	中組	見舞返し	
須 佐			
英霊に答える会代表野村三郎			5,818円

(香典返し・一般寄付合計 86件5,876,040円、内指定寄付 23件2,643,000円)

物品寄付

内 容	ご芳名	ご住所
萩		
シルバーカー	匿名	
車椅子2台	日産プリンス山口販売株式会社	
子ども用車椅子1台	山口トヨペット株式会社	
田 万 川		
書き損じハガキ 91枚	匿名	
須 佐		
書き損じハガキ 9枚	匿名	

内 容	ご芳名	ご住所
旭		
書き損じハガキ 13枚	土山 政子	原
書き損じハガキ 256枚	匿名	
書き損じハガキ 20枚	松田美美子	久年
福 栄		
書き損じハガキ 44枚	岡 敦子	永井

善意銀行は、地域福祉活動推進の貴重な財源となっています。どうかご協力ください。

赤い羽根「新規ボランティア活動等」助成事業

山口県共同募金会では、先駆的・開拓的事業を支援（主に立ち上がり支援）して、民間福祉活動の発掘・育成を行っています。

●助成対象団体

県内の福祉または福祉に関する保健、医療、教育等の分野で、次のような先駆的・開拓的な活動を行う団体、NPO（活動を始めてから3年以内）

- ①他地域で実施されていても、当地域で初めて取り組むもの
- ②公の援助を受けず、自主、非営利、公開が原則

●対象事業

事業費、活動に必要な備品や機材費

●助成額

1団体1事業とし、総事業費の4/5以内で30万円まで（原則1年。継続は特認3年限度）

●申込み・締切り

平成23年度末までに山口県共同募金会萩支会へ

書き損じ葉書ありがとうございました

旭地域では、毎月1回、独居高齢者の方へ郵便局員さんのご協力によって、手渡しで便りを届けています。母親クラブや中学生も書き手となり、葉書1枚によって高齢者の安否確認と、そっと見守る地域の連帯感が芽生えています。

昨年度1,200枚のご寄付をいただきました。ありがとうございました。有効に活用させていただきます。



寝具消毒乾燥サービス事業

日常的に使用する寝具を洗濯・消毒・乾燥することにより、清潔で快適な生活が過ごせるよう支援します。

●対象者

心身の障がい及び疾病等の理由により、自力または他の福祉サービスの利用、家族の支援等によっても寝具の衛生管理が困難な方

●利用料

1枚あたり掛毛布1,470円、敷布団1,470円、毛布580円

●利用限度

1回につき掛布団、敷布団1枚、毛布3枚まで。（年2回）

●申請締切 6月末（第1回目）、2月末（第2回目）

●申請方法

各地区の在宅介護支援センター相談員が自宅まで訪問、代行申請

●問合せ

萩市社会福祉協議会本所・各事務所、各地区の在宅介護支援センター

編集室

しあわせ写真コンテストは、早いもので6回目となります。今年は、電子メールでも応募することができるようになりました。

福祉とは、何か特別で特定の人のためではなく、私たちの普段の暮らしに幸せが溢れていくことではないでしょうか。その光景を、ステキだと思ってきるシャッター。そんな温かい方が増え、ステキな光景がたくさんみられる町でありたいですね。（た）



ふれあい・ボランティア・スポーツ 2011

仲間とともに頑張ろう！

障がいのある方の交流と親睦を深め、障がい者の社会参加および自立の推進を図ることを目的として開催しています。

萩市・阿武町をはじめ、各障がい者施設の共催により、学生や様々なボランティアさんも一緒に大会を盛り上げています。

小野 良夫さん（むつみ）

身体障がい、知的障がい、精神障がいのある方々が一堂に会し、スポーツで汗を流して交流すること、普段の生活の励みになっています。毎年恒例の行事となりましたが、参加者が高齢化しており、参加人数も少し減っております。

福祉施設を利用されていない方の参加も大歓迎なので、ぜひ一緒に楽しみましょう。

今年は、おいでませ！山口大会が10月22日～24日に開催され、全国から多くの選手やボランティアの方が萩に来られます。これを機に、障がい者スポーツへの理解も深まれば良いなと感じています。

熊野 誠さん（萩）

実行委員会のメンバーとして大会の運営に関わって7年目になります。様々な団体からの参加者がありますが、これから若い方の参加が増えれば良いと思います。

幼い頃から、各種イベントに参加して仲間ができたことは、今では大きな力になっています。初めての参加は勇気がいりますが、きつと素晴らしい出会いと体験があるはずです。

各地域の方々とも交流できることを楽しみに、実行委員として頑張っています。

みなさん、ぜひ、会場にお立ち寄りいただき、仲間とともに頑張る姿に、温かいご声援をよろしく願います。

6月19日(日)
10:00から

萩市民体育館